

令和5年度 標準学力調査（東京書籍）結果

嘉麻市教育委員会 学校教育課

1 調査の目的

児童の学力を把握・分析し、学校における教育指導の成果と課題の検証やその改善に役立てる。

2 調査対象の学年

小・義務教育学校第1学年から第6学年

3 調査の内容

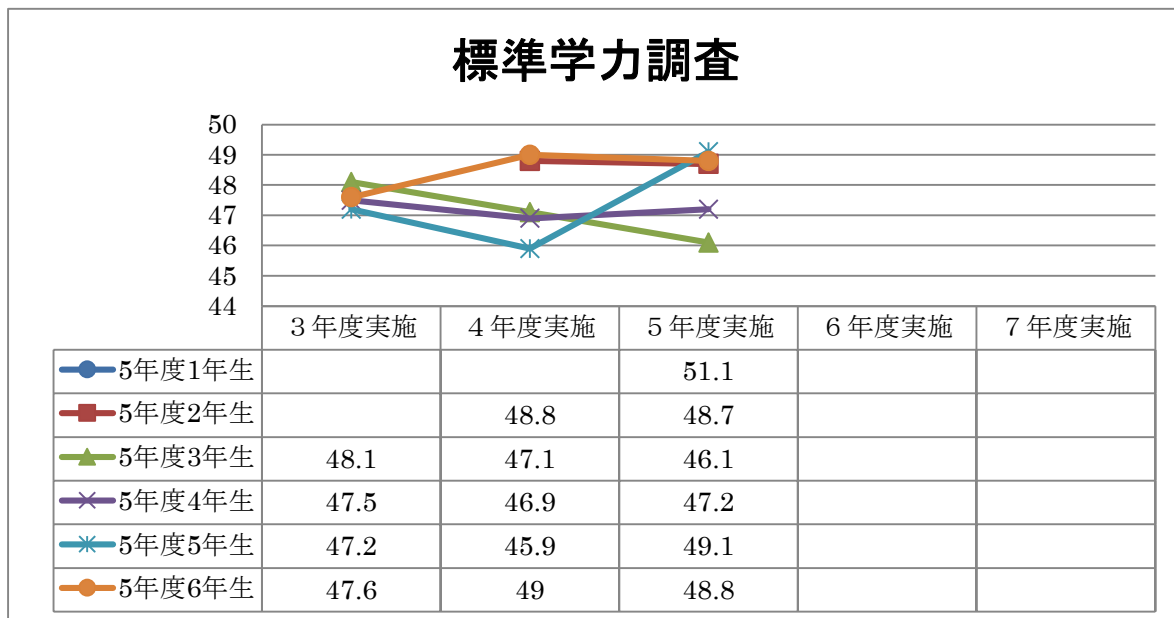
11月までの学習内容（国語・算数）

めざせ！標準スコア（50）超え！！

標準スコアは全国値の正答率を50とした時の換算値です。

	3年度実施	4年度実施	5年度実施	6年度実施	6年度実施
嘉麻市平均	47.0	47.2	48.5		
標準スコアとの差異	-3.0	-2.8	-1.5		

標準学力調査



- 全国平均（標準スコア50）を超えることを目指して取り組んできた結果、令和5年度は48.5でした。令和4年度よりも標準スコアは1.3ポイント上昇しました。また、1年生は目標の全国平均を超えることができました。しかし、同一集団で見ると昨年度よりも標準スコアを下けている学年が半数あります。

【成果】

- 算数科において、全学年で全国平均を超える学校も見られました。これは、各学校の課題を解決するために、学習内容定着を短期的に見取る取組【トリプル80（テストで80点以上の子どもの割合を8割以上にする、これを全単元の8割達成する取組）や単元テスト等の実施】や各学力層に応じた学習指導・支援が効果的であったと考えます。

【課題】

- 基礎・基本の確実な定着にむけ、学力層に応じた習熟度別指導の工夫・改善や児童生徒が授業の主体となる授業改善、ICTを活用して、それぞれの学習状況に応じた学習課題作成（家庭学習の充実）を進めていく必要があります。また、各学校が行う取組を短期間で見取る体制をさらに確立していく必要があります。

【改善策】

- 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着に向けて、学習内容を短期的に見取る取組（トリプル80や単元テストの実施）の徹底を図ります。また、AIドリル等を活用して、それぞれの学習状況に応じた学習課題に取り組みます。
- 学力向上検証委員会を定期的開催し、各学校の取組状況から成果のある取組を共有しながら、学力向上の取組を推進します。